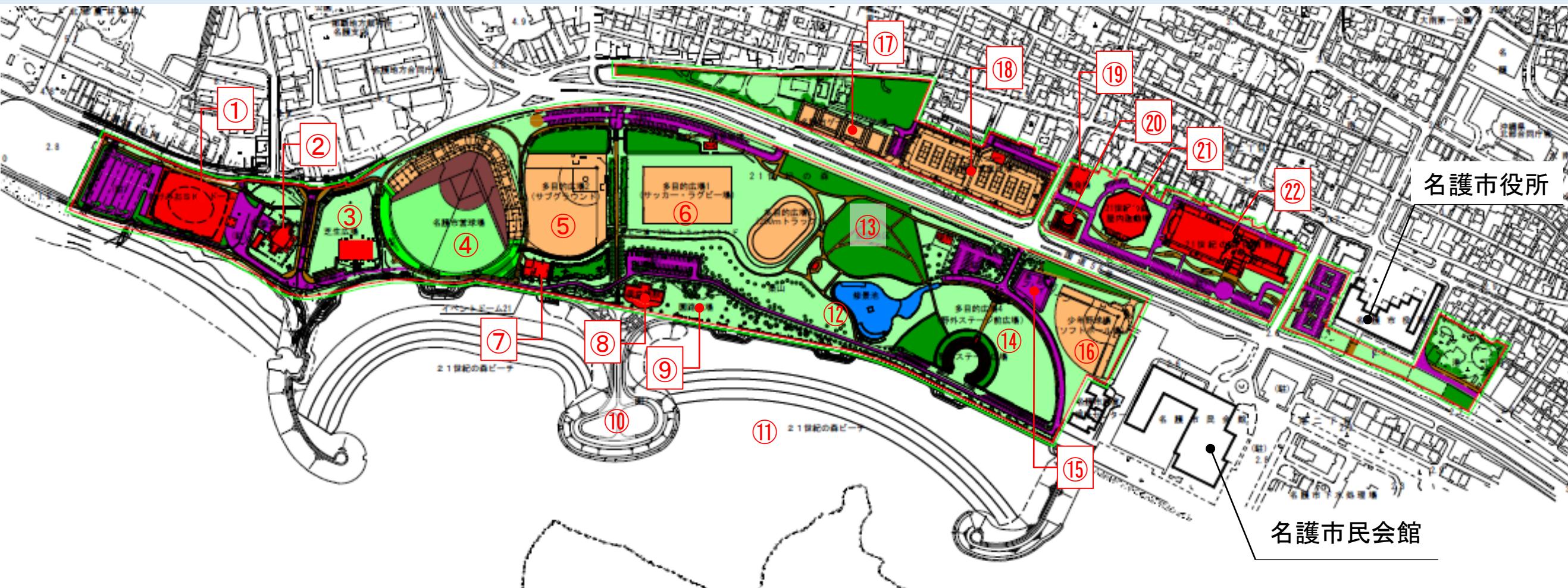


対象施設及び実施内容の概要



2. 21世紀の森（名護浦公園）施設等概要



No.	名称	備考	No.	名称	備考	No.	名称	備考
①	あけみお SKYドーム	・ H24供用開始・年間4.9万人利用 ・ 駐車場149台	⑨	バーベキュー広場	・ 年間9千人利用 ・ 駐車場60台（内身障者用4台）	⑰	ゲートボール場	・ H1年供用開始・年間1千人利用 ・ 駐車場18台
②	国際交流会館	・ H12年築・年間約1千人利用 ・ 駐車場51台（内身障者用5台）	⑩	浮島		⑱	テニスコート	・ S59年供用開始・年間3.6万人利用 ・ 駐車場35台
③	屋外投球練習前広場	・ R2度供用開始・イベント時使用想定 ・ 臨時駐車場として利用可（約120台）	⑪	人工ビーチ 遊泳エリア	・ 利用期間4月～9月 ・ クラゲネットあり	⑲	労働福祉センター	・ H6年築・年間約3万人利用
④	市営球場	・ R1年築・1～2月：プロ野球キャンプ ・ 3月：大学野球合宿	⑫	池・松林	・ 公園内散水に利用 ・ 管理に補助金活用 ※松くい虫防除事業	⑳	相撲場	
⑤	第二球場	・ S53年供用開始・年間4千人利用 ・ 駐車場49台	⑬	モデル花壇	・ 防衛省補助により整備	㉑	21世紀の森 屋内運動場	・ H3年供用開始・年間4.7万人利用 ・ 駐車場12台
⑥	サッカー ラグビー場	・ 年間1万人利用（整備前） ・ 2面整備中・R3年、1面完成予定 ・ 駐車場75台（内身障者用2台）	⑭	野外ステージ	・ 年間1.7万人利用 ※申請ありの利用者 ・ 駐車場91台（内身障者用2台）	㉒	21世紀の森 体育館	・ H2年築・年間10万人利用 ・ 駐車場135台（内身障者用4台）
⑦	イベントドーム	・ H11年供用開始	⑮	多目的プレイゾーン	・ スケートボード利用 ・ 3on3バスケット利用			
⑧	ビーチハウス	・ 温水機能なし	⑯	少年野球場	・ 年間1万人利用			

凡例： 公園対象区域（26.1ha）

3. トライアル・サウンディング実施エリア

本業務におけるトライアル・サウンディングの実施にあたっては、令和2年度策定の「名護湾沿岸基本計画」でゾーニングした「レクリエーションゾーン」（ビーチハウス、バーベキュー広場、野外ステージ等を含む）、「海のアクティビティゾーン」（主に21世紀の森公園に面した名護湾沿岸）の土地利用計画における取組みに基づくものとし、名護漁港周辺エリアの取組として位置づけられた漁業体験プログラムに関するトライアル・サウンディングも併せて検討するものとする。



人工ビーチ



ビーチハウス



バーベキュー広場



野外ステージ

(1) 短期（5年以内）

基本構想・基本計画に基づく取組の第一歩として、名護湾沿岸の資源を活かしたエリアの魅力向上のアイデアの実現可能性を探るため、21世紀の森公園周辺エリアを中心に官民連携によるトライアル・サウンディング^(※)等実証実験を実施し、市民や来訪者からの声を最大限に反映できるように努めます。また、長期的なまちづくりを見据えて、既存の公共施設の機能配置や、名護漁港や隣接する中心市街地のまちづくりについて、検討していきます。

※トライアルサウンディングとは、民間事業者を検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供するものです。

1) 21世紀の森公園周辺エリア

21世紀の森公園全体については、市民も来訪者も安心して快適に利用できる環境を整えるため、遊歩道や外灯、案内サイン等のインフラ整備等を進めます。なお、当該エリアは沖縄県が設定した津波災害警戒区域内であることから、防災の観点も考慮しつつ施設等の整備を進めます。

■レクリエーションゾーンの充実に向けた取組

21世紀の森公園を楽しむアクティビティの場となるよう、海のアクティビティゾーンと連携した実証実験を実施し、その成果を踏まえ、機能強化や活用策を検討します。その検討を基に、民間活力も活用しながら、必要な機能整備に着手します。

■海のアクティビティゾーンの充実に向けた取組

名護湾を楽しむマリンアクティビティの場となるよう、レクリエーションゾーンと連携した実証実験を実施し、その成果を踏まえ、機能強化や活用策を検討します。その検討を基に、民間活力も活用しながら、必要な機能整備に着手します。

2) 名護漁港周辺エリア

■漁業体験の充実に向けた取組

レクリエーションゾーン及び海のアクティビティゾーンの実証実験と合わせて、漁業協同組合と連携した漁業体験プログラムの実証実験を実施し、その成果を踏まえ、可能なものから順次プログラム化を進めます。

